

選択 15 食生活・食環境・食品安全性に関わる諸問題と 対策

開講日 8月 15日(火)

受講料 6,000 円

募集人員	時間数	履修認定対象職種	試験方法	担当講師
60名	6時間	教諭・栄養教諭	筆記試験	大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 古澤 直人 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 小島 明子 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授 福村 智恵 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 助教 早見 直美
講習内容 食品の安全を取り巻く状況、安全のための仕組みおよび厚生労働省の取り組みなどを紹介し、食品の安全性確保について考察する。加えて、現代の食生活における食品添加物の恩恵とその是非についても考察する。また、児童生徒の食生活において課題となる、食物アレルギーの発症機序とその対策、子どもを取り巻く食と健康問題、思春期における食行動課題と関連要因について、具体的な事例をもとに講義する。				
主な受講対象者 小学校・中学校 教諭・栄養教諭				

時限	担当講師	授業概要
1限	古澤 直人	食品の安全性確保（補：食品添加物の是非） ：食品を取り巻く状況、安全な食品を食卓に運ぶための仕組みおよびその取り組み方などを紹介しつつ食品の安全性確保について考察します。加えて、現在の食生活は食品添加物の恩恵を受けている事実を踏まえ、これら添加物の是非についても考察します。
2限	福村 智恵	食物アレルギーの発症機序とその対策 ：食物アレルギー有病率は近年増加の傾向にあり、また食物アレルギーをめぐる研究成果や社会的対応には多くの進展がみられています。本講義では食物アレルギーの各種ガイドラインを踏まえ、事例と共に学校における食物アレルギー対策について考察します。
3限	小島 明子	子どもを取り巻く食と健康の課題 ：子どもを取り巻く食と健康に関するさまざまな問題およびその対策について考察します。さらに、子どもの成長や発達に重要な役割を果たす「食事（食品成分、栄養素も含む）」についても解説します。
4限	早見 直美	思春期の食行動課題と関連要因 ：朝食欠食、共食機会の減少、ダイエット、等、思春期に増加する食行動の現代的課題と社会的要因を中心とした関連要因を整理します。また、問題の予防および健康的な食行動形成を目的とした栄養教育アプローチについて具体例を交えて講義します。
受講生へのメッセージ	4人の講師により、児童生徒を取り巻く“食と健康”に関わる健康課題とその対応・対策についてオムニバス講義をします。事前に学校教育の場における課題を確認し、質問や意見交換をしましょう。	